

### 第3章 熊本県道路整備の基本方針

ここでは現在の道路をとりまく社会状況等から、今後、熊本県における道路行政を進めるに当たっての考え方を基本方針としてまとめた。

県勢の将来像を描いた「熊本県総合計画」（H12策定）に、その実現を図る主要な施策が掲げられているが、これに対応した道路づくりを基本とする。これに県民アンケートによる意見、熊本県幹線道路懇談会での意見あるいは道路行政をとりまく新たな社会的課題等から今後の道路整備のあり方を整理し、これを踏まえ「熊本県道路整備の基本方針」としてまとめた。

# 《熊本県道路整備の基本方針の体系図》

## 【道路整備の理念】

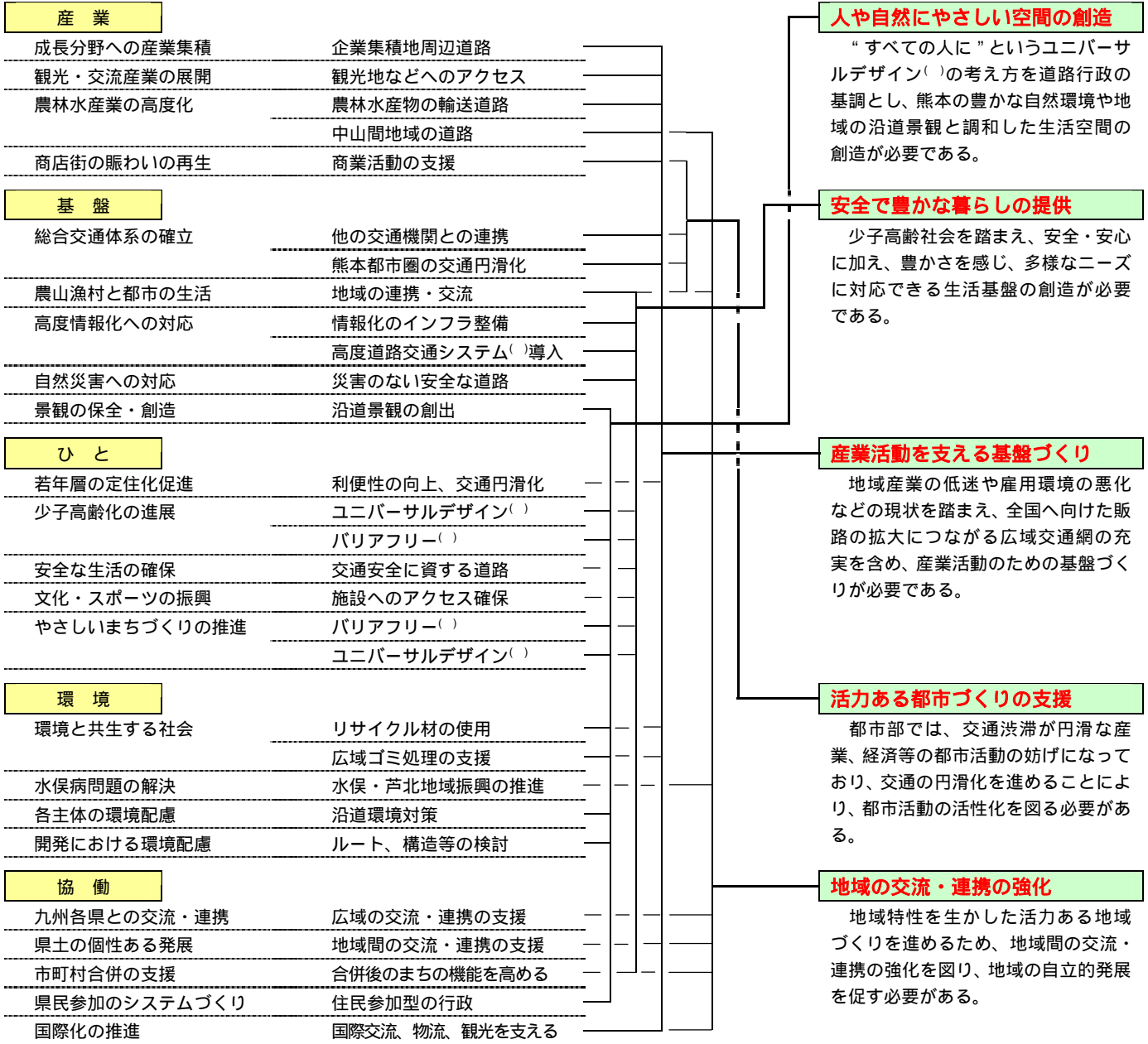
〔県民とのパートナーシップを図り、すべての人に視点をあてるユニバーサルデザイン<sup>( )</sup>を基調とする〕

道路整備に関わる主要な施策

道路整備の視点

新たな社会的課題 + 県民の  
意見 + 道路行政の方向性  
市町村合併

【道路整備の方針】



### 人や自然にやさしい空間の創造

“すべての人に”というユニバーサルデザイン<sup>( )</sup>の考え方を道路行政の基調とし、熊本の豊かな自然環境や地域の沿道景観と調和した生活空間の創造が必要である。

### 安全で豊かな暮らしの提供

少子高齢社会を踏まえ、安全・安心に加え、豊かさを感じ、多様なニーズに対応できる生活基盤の創造が必要である。

### 産業活動を支える基盤づくり

地域産業の低迷や雇用環境の悪化などの現状を踏まえ、全国へ向けた販路の拡大につながる広域交通網の充実を含め、産業活動のための基盤づくりが必要である。

### 活力ある都市づくりの支援

都市部では、交通渋滞が円滑な産業、経済等の都市活動の妨げになっており、交通の円滑化を進めることにより、都市活動の活性化を図る必要がある。

### 地域の交流・連携の強化

地域特性を生かした活力ある地域づくりを進めるため、地域間の交流・連携の強化を図り、地域の自立的発展を促す必要がある。

各種施策を展開する視点

新たな社会的課題 + 県民の意見 + 道路行政の方向性

【道路整備の進め方】

- 「県民が主役」の県政
- 「対話のある」県政
- 「地域が主体」の県政
- 「パートナーシップを大切にした」県政
- 「成果重視」の県政

公共投資の抑制

- 開かれた道路行政
- 地域の視点
- 道路整備の重点化・効率化
- 各種道路間の調整
- 民間活力の導入

### 3 1 道路整備の理念

道路は、自動車等の交通円滑化を支える交通機能以外に、沿線の土地利用を規定するかコミュニティ - 空間としての役割等多様な機能を有している。これまでの道路整備の推進により、生活空間における交通機能としての量的な道路のネットワークの形成がある程度進んだとの認識が芽生える中で、今後の道路整備は、市町村合併の進展、あるいは生活行動圏の広域化等を踏まえ、県勢の骨格となる広域の交流・連携を支える幹線道路のネットワークの完成を図る必要があるが、一方、少子高齢化、交通安全、環境、地域の文化、交通渋滞といった観点から、人に視点を当て、質を高めるための道路整備がこれまで以上に求められている。

このためには、行政と民間、本県と他県や市町村あるいはハード施策とソフト施策等々のいろいろな観点での県民とのパートナーシップを図り、県政の基調としている全ての人に視点を向け配慮する「ユニバーサルデザイン<sup>(1)</sup>」を道路整備の全般にわたる基調とする。